

## 令和6年度関東ブロック支部長会議について(報告)



関東ブロック事務局(担当:栃木県)

朝から雪がちらつく2月2日(日)、宇都宮市の「ホテルニューイタヤ」において、関東ブロック支部長会議を開催致しました。本年度から、栃木県が本部理事及び事務局担当県であり、16年ぶりの栃木開催となりました。

当日は、麻布獣医学園から小倉理事長を来賓にお迎えし、「学園の近況等」について講演いただきました。少子化が進み、私学の4割が定員割れする中、本学は今年度すべての学科で定員を満たし、継続して健全な運営ができているなどのお話がありました。

各県支部からの活動状況の報告の中では、どこの支部も新規入会の減少、総会出席者数の伸び悩みという課題を抱えているとのことでした。そんな中、千葉県では、新規入会2年目まで、懇親会費を減免したところ、新入会員の出席者数増加に効果があったと報告がありました。一方、会費納入が減少してきている中、支部の努力のみでは運営が厳しいというのが各支部の実状です。意見交換の中では、支部の新入会員参加推進のため、同窓会本部から総会・懇親会費用の助成を検討して欲しいとの意見が出されました。本部にはこの場を借りて要望したいと思います。また、千葉県からは、養鶏場で続発している高病原性鳥インフルエンザの防疫措置の状況について、報告がありました。養鶏密集地域での連続発生、隣接市への拡散等が起こり、家畜保健衛生所職員の疲弊が激しいためOB職員に協力要請があり、支部長自ら夜間の防疫作業に複数回従事したそうです。現地では、これ以上の感染拡大防止のため、国の疫学調査によるウイルスの侵入経路の解明に期待が寄せられているとのことでした。

会議終了後には懇親会を開催し、旧友や先輩後輩との親睦を深め合うことができ、有意義な時間を過ごすことができました。鳥インフルエンザや豚熱の一日も早い終息と侵入経路の解明により、これ以上の発生がないことをお祈りしまして、関東ブロック支部長会議の報告と致します。